安全とあなたの未来を支えます

Safety and your Future with NITE

nite

National Institute of Technology and Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

採用案内

次の 100 年へ。安全と未来を支える――

1928年、前身となる輸出絹織物検査所からスタートしたNITE。
NITEはこの100年の間、時代と社会のニーズに呼応して変化し、
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けてきました。
NITEの財産は、培ってきた確かな技術と情報の信頼性、
そして、よりよい社会のために考えて行動する“人”の力。
未来に向けた“新しい力”となるのは、あなたたちです。
ともに安全と挑戦を支えていきましょう。次の100年へ。

■ NITE の基本理念

確かな技術と信頼できる情報をもとに
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けます

Part1　組織概要

NITEとは …… 3
NITE組織図 …… 4
リーダーメッセージ …… 5
デジタル技術とデータの利活用推進 …… 6

Part2　業務紹介

■製品安全分野 …… 7
■化学物質管理分野 …… 9
■バイオテクノロジー分野 …… 11
■適合性認定分野 …… 13
■国際評価技術分野 …… 15
■マネジメント分野 …… 17

Part3　働き方

座談会「女性職員が語る　NITEの魅力、働き方」 …… 19
コラム「NITEの役割、私の役割」 …… 22
アンケート「若手職員に聞いてみました」 …… 23
採用関連Q＆A …… 25
求める人材像／採用実績 …… 26

撮影（表紙・1～2ページ）：NITE本所 屋上にて

NITEとは

“安全とあなたの未来を支えます”をスローガンに掲げ、
ニーズ、シーズの変化に柔軟、かつ迅速に対応し、
確かな技術と情報で、より安全で豊かな社会を目指す――
それが、NITEです。

NITEとはどんな組織？

正式名は「独立行政法人製品評価技術基盤機構」です。「NITE」は機構の英語名のNational Institute of Technology and Evaluationのそれぞれの単語の頭文字を取ったもので、「ナイト」と読みます。

NITEは経済産業省所管の独立行政法人で、役職員は国家公務員です。

どんな仕事をしているの？

身の回りの製品で起こった事故の原因を調査する。洪水などでの水没を想定して、大型蓄電池の試験をする。新しい化学物質の安全性を審査する。微生物を保管して、産業に活かせるよう提供する。認証機関の試験能力を審査する。AI（人工知能）活用などにより業務のデジタル化を推進する。より働きやすくするために職場環境を改善する。

これらは、NITEの業務のほんの一部です。確かな技術と信頼できる情報をもとに、バラエティ豊かな５つの技術分野の専門性で、またその総力を結集して、くらしの安全と未来への挑戦を支える多彩な仕事をしています。

NITEの職員になるには？

NITEは国家公務員採用一般職試験の合格者から採用を行っています。行政区分及び全ての技術区分から広く採用しています。

NITE組織図

職員数（令和7年1月時点）

常勤職員　437人

非常勤職員　245人

- 理事長
  - 監査室
- 理事
  - デジタル監
  - リスクマネジメント推進統括官
  - 企画管理部
  - 国際評価技術本部
  - バイオテクノロジーセンター
  - 化学物質管理センター
  - 認定センター
  - 製品安全センター
  - 北海道支所
  - 東北支所
  - 中部支所
  - 北陸支所
  - 中国支所
  - 四国支所
  - 九州支所
- 監事

リーダーメッセージ

■理事長メッセージ

NITEの前身は、100年前の我が国の主要輸出品であった絹織物の品質維持を目的に
各生産地の検査所として設立された、地域と世界を結ぶ「グローカル」な連携拠点です。
伝統的に変化に敏感で、たとえばDXやAIの活用などに積極的に取り組み、
既存事業の生産性向上システムを確立することで余裕を生み出し、常に成長分野に挑戦しています。
経済産業省唯一の行政執行法人として、柔軟で小回りの利く特殊な機能を発揮でき、
ワーク・ライフ・バランスにも優れた安定した仕事環境の中で、世の中の変化を先導する活動に参加してください。

理事長 長谷川 史彦

■部門長メッセージ

製品安全分野

豊かなくらしをつくる製品安全

製品安全分野では、日常生活で使われる製品の多様化や商取引のボーダーレス化などに伴う課題に対応し、事故原因究明技術のアップデート、情報発信の強化、国内外の関係機関との連携などによって、製品事故の防止に向けて多角的に取り組んでいます。私たちと一緒に、技術の面から製品安全文化を醸成し、安全で豊かなくらしを創出しましょう。

化学物質管理分野

環境保全と経済発展の両立に向けて

みなさんが普段使う全てのものは、化学物質でできています。適切に使えば生活がより豊かになりますが、誤って使うと人体や環境に悪影響が出ることもあります。化学物質管理分野では、化学物質の適切な利用により、環境の保全と経済活動の発展の両立を目指しています。一緒に未来の化学物質管理分野を考えていきませんか？

バイオテクノロジー分野

多様な社会課題を微生物で解決

バイオテクノロジー分野は、微生物の保有数が世界トップクラスの生物資源保存機関として、我が国の技術基盤を支えています。目に見えない微生物の力を活用し、CO_2を原料としたバイオものづくりや海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題解決にも取り組み、世の中に役立つさまざまな事業を行っています。微生物パワーで社会を変革していきましょう！

適合性認定分野

理想的な社会を叶える「認定」

適合性認定分野は、SDGs（持続可能な開発目標）等の新たな価値や新規技術を実社会に広めていくために、迅速、柔軟かつ信頼感ある仕組みづくりに取り組んでいます。国際ルールに基づく「認定」の提供と普及を図りつつ、来たる未来に、社会、産業、生活がどうあるべきか。一緒に考えながら、新しい価値創造と共にやりがいを創出しましょう。

国際評価技術分野

再生可能エネルギーの普及を促進

国際評価技術分野は、再生可能エネルギー導入に不可欠な蓄電池システムの安全性を事業者とともに試験評価し、安心して使える蓄電池とは何かを世界に発信しています。また、太陽光発電等の事故原因を究明し、事故防止に向けた情報も発信しています。将来の我が国の主力電源であり、カーボンニュートラル実現の鍵といえる再生可能エネルギーの普及促進に向けて、一緒に取り組んでみませんか。

デジタル技術とデータの利活用推進

NITEは、デジタルに対する職員の知識とマインドを高める取組や、環境整備などにより、
デジタル技術とデータの利活用を推進しています。

AIやIoT等のデジタル技術とビッグデータの利活用により、新たな製品やサービスを生み出し、経済と社会を急速に変革させるデジタルトランスフォーメーション（DX）が世界中で進んでいます。

NITEは、確かな技術を持つ現場と100年近い業務の中で蓄積したデータを強みとする、DXと親和性が高い組織です。これらの強みを伸ばすべく、デジタル技術とデータの利活用のための取組を進めています。

その要の1つが人材育成です。経営者である役員と現場の職員一人一人がデジタル利活用のための知識とマインドを持つことが不可欠との認識に立ち、国が実施している「ITパスポート試験」の受験を推奨し、多くの役職員がチャレンジしています。また、デジタル技術やデータを専門とするスペシャリストの育成の取組も始めています。

人材育成以外にも、失敗を恐れずにデジタル技術やデータの利活用のためのアイデアを提案して実現に向け取り組める制度、困ったときに気軽に相談できる環境、知識や情報を得るための講演会等、職員一人一人のレベルアップとチャレンジを後押しするさまざまな機会を提供しています。

より良い組織になるためにデジタルを活用する

私は、生成AIの業務への適用可能性の検証、デジタル人材育成に関係する取組の検討・実施、DXに係る知識や情報を得るための講演会開催などを担当しています。NITEがより良い組織となるためにどのようにデジタル技術を活用し、どのようにデジタル技術と向き合えば良いかを検討し、企画段階から携われる、やりがいのある仕事です。

関係産業界にNITE主導で変革を

これまでのデジタル推進の取組により、業務でのオンライン会議やチャットが当たり前に活用されるようになりました。これからは生成AIなど新しい技術も活用し、業務のさらなる効率化を進めていきたいと考えています。

また、NITE内にDX推進に向けた意識が根付くことで、職員一人一人がデジタルツールを率先して活用し、デジタル技術の活用によって業務がどのように変わるかを考え、アイデアを提案・実現できる環境にしていきたいです。その結果、NITEが関わる産業界のビジネスモデルを、NITE主導で変えていけるようになることを目指しています。

デジタルスキルも活かせる、学ぶ機会もある

NITEには幅広い分野の部門があります。どの分野にもデジタルスキルを活用できる業務が多くあり、また各部門での業務経験もデジタル技術の活用やデータ分析に活かせます。NITE全体のデジタル知識の底上げや専門人材の育成にも取り組んでおり、大学で専門的な勉強をしていない方でも、デジタルスキルを身につけ、DX推進室等で活躍するチャンスがあります。デジタル技術を活用した組織文化の変革、データを活用した新しい価値の提供といったことに興味がある方は、ぜひNITEをご志望ください。

interview

2015年入構（試験区分：デジタル・電気・電子）
デジタル監
情報統括課
デジタルトランスフォーメーション（DX）推進室
鈴木 進洋

製品安全分野

安全な生活は、製品事故の未然防止と再発防止から

私たちの生活の場には多種多様な製品が存在していますが、製品の使用時に事故が起こることも少なくありません。
製品安全分野では、消費生活用製品に係る事故の情報収集、調査・分析を行い、
製品事故の再発防止や未然防止に向けた情報を発信することで、安全で豊かなくらしの創出に貢献しています。

1 製品事故の情報の収集、調査・分析、公表

電気製品、ガス・石油機器、日用品などの消費生活用製品で発生した事故について、消防や警察、消費生活センター等の関係機関の協力を得ながら情報を収集するとともに、事故品の電子回路構造、機械的強度、化学的性質の分析といった原因究明調査を行っています。調査にあたっては、これまでに蓄積した調査データにAI技術を活用するなどして、効率化を図っています。こうして実施した調査の結果は、「事故情報データベース」としてNITEのホームページで広く公表しており、事業者のより安全な製品づくりなどに役立てられています。

2 国の法施行業務・製品安全施策への支援

NITEは行政執行法人として国の各種法施行業務を支援しており、製品安全分野では「製品安全４法※」に基づく製造事業者等への立入検査を行い、法令遵守状況を確認しています。

また、事故情報のリスク分析・評価や製品に共通する危険因子の解析、ヒヤリハット情報の分析を実施し、技術的知見をもって経済産業省に行政施策への提言を行っています。同時に、民間団体等が行う製品安全に係る技術基準・規格の作成及びその普及支援も行っています。

特に近年は、非純正リチウムイオンバッテリーなど、事故多発傾向にある製品に対する国の技術基準作成や、乳幼児や高齢者等が関係する製品事故の未然防止のための技術基準・規格等の普及啓発を支援しています。

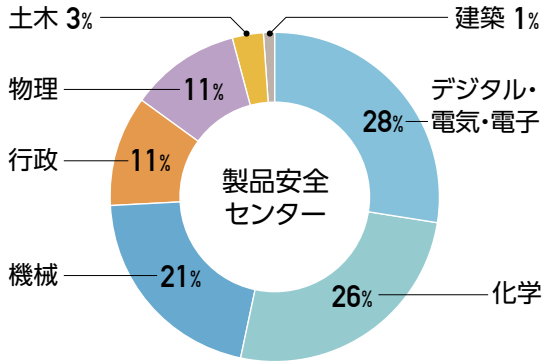
3 消費者向け注意喚起

調査・分析の結果、誤った使い方や不注意が原因で多発していることが明らかになった事故については、注意喚起のための記者説明会を行い、テレビや新聞などマスメディアを通じて、消費者に事故の事例や製品の安全な使い方を紹介しています。夏にはアウトドアで発生する事故、冬には暖房器具に関する事故など、季節に合わせた注意喚起を行うことで、消費者に自分事ととらえてもらえるように努めています。

また、最近ではYouTubeやX（旧Twitter）、Instagram等SNSの活用や、民間の事業者や業界団体とのコラボレーションによる情報発信にも取り組んでいます。YouTubeでは「製品安全について学ぼう！せいあんちゃんねる」において、製品安全センターの職員が自らYouTuberとなって動画に出演し、注意喚起を行っています。

※製品安全４法：「消費生活用製品安全法」、「電気用品安全法」、「ガス事業法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」

■試験区分比率



NEW TOPICS

製品事故の情報を調べられる仕組みを運用

より安全なくらしのために、製品事故の要因を知ることはとても大事です。そこでNITEでは、保有する事故情報を整理し、分かりやすい形で提供するシステム「SAFE」を運用しています。SAFEの情報は、事業者がより安全な製品を製造するために、製品の設計・開発の段階から参考にしていただくことができます。またスマートフォンやパソコンから簡単にアクセスできるため、消費者が普段使う製品に異常を感じたときにも活用していただき、事故の未然防止につながることを期待しています。

製品安全分野では、安全な製品を“つくる”ことと、安全に製品を“つかう”ことを支援しています。

interview

社会の安全に貢献していることを実感できる

2016年入構（試験区分：デジタル・電気・電子）
製品安全センター
事故調査課
嶋田 博之

広く安全に携われる仕事がしたい

私は、前職では民間の製造業企業に勤務しており、製造設備の保全業務に携わっていました。周りには業務中の怪我を経験した人もいて、漠然と「安全」ということを考えるようになりました。社内だけの安全ではなく、もっと広く安全に携われる仕事はないかと考えていた時に、NITEの製品安全センターの存在を知りました。製品安全センターでは、安全性を検証するために再現実験などを行うこともあるため、製造業で培ったスキルや経験が活かせるのではないかと考え、NITEへの入構を決めました。

現在は、一般消費者の方が購入・使用する身の回りの製品に関する製品事故の事故調査を担当しています。具体的には、製品の使い方や、製品自体の不備が原因で発生したと疑われる事故について、事故原因を究明するための調査を行います。場合によっては、消防などと合同で調査することもあります。調査結果は取りまとめて経済産業省に報告し、必要な場合には経済産業省から事業者に対して行政上の措置が講じられます。製品事故を調査した結果、原因が判明することはやりがいの一つですが、事故の原因となった製品に再発防止措置が講じられた時には、社会の安全に貢献できたと実感します。

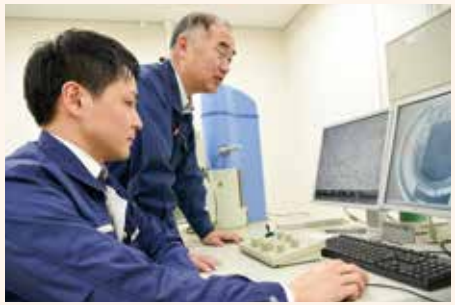
いろいろな方法で学ぶ機会がある

私は大学で電気系を専攻していたので、電化製品などの構造や動作原理が理解でき、製品事故調査を行う上ではとても役に立っていると思います。

NITEでは、いろいろな方法で学ぶ機会があり、若手、ベテランを問わず、研修などに参加しています。製品事故調査そのものについては、長く事故調査に携わっているNITEのベテラン職員に、OJTをしていただくこともあります。また、外部のセミナー等に参加し専門性の高い学術的な理論などを学ぶこともあります。私は、電気に関する知識を身につけたかったので、第三種電気主任技術者の資格を取得しました。NITEでは、資格取得費用等のサポートもあるので取り組みやすいです。勉強を通じて専門性も高められたと思いますので、今後も資格取得にチャレンジしていきたいと思っています。

民間企業とのコラボによる注意喚起も

これまでで印象深かった業務は、個人間取引（CtoC）のためのマーケットプレイスを運営する民間企業に、長期派遣研修として半年間勤務したことです。製品安全の観点から、法令に抵触する危険物など、安全性に問題があるものが売買されないよう監視するために、ルールを作るお手伝いをしました。利用者が安心安全に利用できるプラットフォームの構築のために、企業側に求められる対応やその難しさを経験できました。



専門装置を用いながら製品事故の原因を調査する

製品安全分野では、民間企業とのコラボレーションもあります。たとえば、NITEはアマゾンジャパン合同会社と製品安全に係る活動の協力に関する協定を締結しています。これに基づき、Amazonから共有されたヒヤリハットなどの製品安全情報について、製品事故の未然防止に向けて分析しています。また、NITEはその分析結果をAmazonに提供し、誤使用防止のための助言を行っています。

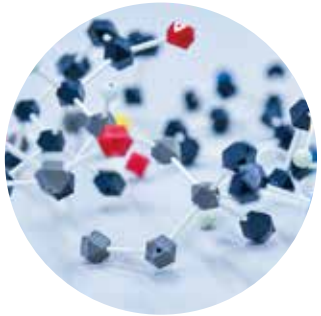
職場の雰囲気はすごく良く、アットホームな感じです。またNITEは、民間を経験してきた方も多く、現場で培ったことなどを聞けるのでとても成長できます。製品安全センターでは月に1回、民間企業経験者が、自分が携わってきた仕事や、NITEへの提案などを語ってくれる場があります。オンラインでも傍聴することができ、NITEの中だけでは学べない知識なども吸収させてもらっています。

学生のみなさんへ

学生さんに「NITEを知っていますか」と聞くと、ほとんどの方が知りません。私が所属している製品安全センターは、ニュース等でも動画が流れるので知っている方もおられると思いますが、NITEには製品安全以外にもいろいろな分野があり、みなさんの生活や日本の産業に役立つ仕事をしています。これをきっかけに、ぜひ関心を持っていただけたらうれしいです。

化学物質管理分野

化学物質による人の健康と環境への悪影響を最小限に



化学物質は私たちの生活を豊かにする一方で、使い方を間違えると悪影響を与えることがあります。
化学物質管理分野では、適正な化学物質管理の推進とわかりやすい情報発信で、
みなさんの安全な生活を支え、経済社会の発展に貢献しています。

1 化学物質管理に関する3つの法施行の円滑な推進

■「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」(化審法)関連業務

化学物質によるリスクの最小化に貢献するため

・新たに開発された化学物質の安全性に関する審査
・規制対象となる化学物質への名称の付与
・既に市場に出ている化学物質のリスク評価
・化学物質の管理状況を確認するための立入検査

などを行っています。

また、既に明らかになっている化学物質の安全性に関する情報を収集、解析し、実測試験をせずに化学物質の安全性を予測する手法の開発や、政策への利活用を検討しています。

■「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(化管法)関連業務

事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境保全上の支障を未然に防止するために、事業者から届出をされた化学物質の環境への排出量等の情報(PRTRデータ)の記録、集計・解析を行っています。PRTRデータを活用することにより、事業者や自治体等による化学物質管理を促進し、地域住民のくらしの安全に貢献しています。

■「化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律」(化学兵器禁止法)関連業務

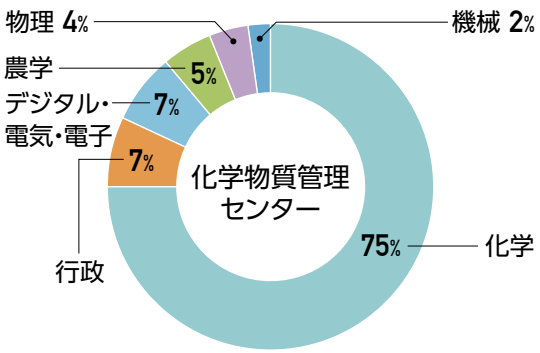
「化学兵器の開発、生産、貯蔵及び使用の禁止並びに廃棄に関する条約」(化学兵器禁止条約)に基づいて設立された国際機関(OPCW)による検査の立会いや、国内の化学兵器禁止法に基づく立入検査を行うことで、化学兵器の原料となりうる化学物質の適正管理を促進し、国際貢献をしています。

2 化学物質総合管理情報の整備・提供

化学物質の安全性に関する理解を促進するために、法規制や有害性に関する情報を、次の仕組み等を通じて提供しています。

・データベース「化学物質総合情報提供システム」(NITE-CHRIP)
・Webツール「GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム」(NITE-Gmiccs)

■試験区分比率



また、化学物質管理の国際的な協調を進めるため、経済産業省と連携して、経済協力開発機構(OECD)の環境保健安全プログラムなどへの参加や、アジアや欧米諸国との二国間協力関係の構築などに積極的に取り組んでいます。

NEW TOPICS

海外、省庁、事業者と連携した取組

・化学物質の安全性評価に関する専門家会合(OECD主催)に出席し、当機構からの出向者が事務局を担当しました。
・事業者における適正な化学物質管理の推進を目的とした「QSAR/リードアクロス講習会」を開催しました。
・関連省庁や関連業界と調整しつつ国際連合の専門家委員会に参加し、化学物質管理に関する世界的なルールの策定に関与することで、得られた情報を国内での化学物質管理推進に活用しています。

2014年入構（試験区分：化学）
化学物質管理センター
リスク評価課
髙松 明菜

interview

企業、国民など多くの人に関われることがやりがい

技術色の高い仕事に就きたくてNITEへ

大学は化学専攻でした。研究で有害化学物質（環境ホルモン）について扱っていました。化学物質の危険性について興味があり、また国家公務員一般職の中で、技術色の高い仕事に就きたいと思っていたため、NITEを志望しました。

大学で学んだことのうち有機化学については、特に反応機構や命名法などの分野が、現在の業務に直結していると感じています。また、学生時代の研究を通じて、化学物質が生態へ及ぼす影響などについて携わったことも、現在の業務に役立っていると思います。

学生のみなさんへ

みなさんは、十年後、二十年後、どんな自分になりたいですか。もし、この採用パンフレットを眺めていて、将来のなりたい自分と近いイメージを持った、興味が出てきた、ということでしたら、ぜひ説明会にも参加してみてくださいね。

ちなみに私は「仕事もしつつ、プライベートも大事にする、そんな生活を送っている自分」になりたいと思いながら、就職活動をしていました。今の私は、あのころ思い描いていた自分に多少は近づけたかな……。

行政や法律に関わる仕事

現在は、化審法という法律に関連する業務を行っています。具体的には、化審法に基づいて、化学物質のリスクを評価する業務を行っており、国内で化学物質をどう取り扱っていくのがよいか、危険性と有用性の両面から議論するためにデータをまとめたり、資料を作成したりしています。また、化学物質を取り扱う事業者は、化審法に従い、毎年化学物質の取り扱い数量を国に届け出なければならず、法律の解釈や届出ルールなど、事業者からの問い合わせにも対応しています。

NITEでは、技術的な観点から行政や法律に関わることができます。化学物質を扱ういろいろな企業への支援、国民に対してリスクを分かりやすく伝えるなど、多くの人に関われることにやりがいを感じています。

畑違いのITにも

化学物質は何万種類もあり、それらがどういう法律で管理されているかを把握するために、データベース化して公開しています。この化審法のデータを管理しているシステムに携わったことは、これまでの仕事の中で特に印象に残っています。それまでは先輩職員の後で業務の補助を行う立場でしたが、初めて私が主担当を務めました。私はIT関連の知識はまったくなかったので、システム担当者との円滑なコミュニケーションのためにIT系の勉強にもチャレンジし、システムの仕様変更などでは、担当部署に足を運んで直接話し、イメージを共有しながら業務を進めました。

業務で困ったり、悩んだりするときは周りにいる専門家の上司や同僚に相談しています。みなさん快く相談に乗ってくださいますし、私だけでは出てこなかったアイデアが上司や同僚に相談することで思い浮かぶこともあり、とてもありがたいと思っています。

組織に貢献したくてチャレンジ

NITEは、育児制度も利用しやすいです。私も4歳と1歳の子どもがいますが、周りにも働くママさんが多く、みなさん時短勤務制度などを使って仕事と育児を上手く両立されています。週の半分はテレワークをしており、発熱などで保育園から急な呼び出しがあっても、この制度によってすぐに対応できるので助かります。育児時間、育児短時間勤務を状況に応じて選べるのも良いですね。私が活用する育児時間は、小学校３年生まで対象なのでありがたいです。

今、私も中堅という年代に差し掛かってきて、もう少し組織に貢献したいと考えています。そこで日々の業務をしながら、もっと仕事を効率的、効果的に進めていくための方法などについて検討したり、センター内の勉強会を企画・運営したりしています。研修や人材育成に関して力になれることがあればいいなと思っています。若手でも「こんなことがやりたい！」と手を挙げやすく、チャレンジしやすいことは、NITEの良さの一つだと思います。

バイオテクノロジー分野

生物資源を産業に活かす

食品・化粧品・医薬品など身近なところで活躍している微生物は、なくてはならない存在です。
バイオテクノロジー分野の使命は、産業界における微生物とその関連情報の利活用を支援することにより、社会問題の解決や経済発展に貢献し、持続可能な社会を実現することです。

1 バイオエコノミー社会実現への貢献

近年、バイオテクノロジーとデジタル技術の融合によって、社会課題の解決と持続的な経済成長を両立させる「バイオエコノミー」が世界的に注目されています。このような中、我が国の国家戦略として、「微生物」などの生物資源のポテンシャルを最大限に活用し、バイオエコノミー社会の実現を目指す「バイオエコノミー戦略」が策定され、推し進められています。

NITEは経済産業省によるバイオ政策の下、蓄積した技術や知見を活かして我が国バイオ産業の健全かつ中長期的な発展に貢献しています。

2 生物資源データプラットフォームをハブとした バイオとデジタルの融合

NITEは世界トップクラスの生物資源機関（BRC）として、微生物を中心に約9万５千株の生物資源を収集し、提供しています。

また、これらの生物資源の特性、生産能、ゲノムなどの情報に加え、企業や大学等が保有する有用な微生物とその情報を集約した「生物資源データプラットフォーム（DBRP）」を整備しています。

生物資源とそれに関する情報の両方をユーザーが利用しやすい形で提供することで、生物資源とデジタル技術を用いた効率的な物質生産などのバイオものづくりを推進しています。また、微生物とその情報を持つ方と、使いたい方をつなぐことにより、新たな連携によるイノベーション創出を支援しています。

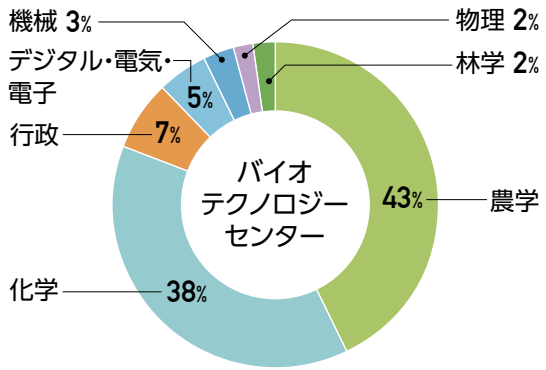
3 特許法及び国際条約に基づく特許微生物寄託機関

微生物を利用した発明で特許を取得する場合、その微生物の存在を証明し、第三者がその発明を再現できる状態にするため、寄託機関に微生物を寄託する必要があります。NITEは、特許法及び国際条約における我が国唯一の特許微生物寄託機関（NPMD、IPOD）として、微生物の寄託を受けて保管し、第三者に提供することでバイオ産業の発展に貢献しています。

4 生物資源に関する安全性の確保

バイオエコノミー社会の実現には、遺伝子組換えなどのバイオテクノロジーが重要な役割を果たす一方で、生物多様性に及ぼす影響を考慮しなければなりません。そのため、遺伝子組換え生物の使用においては「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」（カルタヘナ法）により、届出や安全措置などを行う必要があります。NITEはカルタヘナ法に基づく経済産業省の安全性審査が円滑に進むよう、事業者からの届出に対して、技術的支援や事前相談等を実施することにより、微生物をより安全に使用できる環境整備を支援しています。

■試験区分比率



NEW TOPICS

カーボンニュートラル実現に向けた微生物・データの探索と企業との協調

微生物の中には二酸化炭素（CO_2）を栄養源として生育する種類もあります。現在、これらCO_2固定微生物を利用して化合物を生産させることで、CO_2の排出を低減する技術開発のための国家プロジェクト（グリーンイノベーション（GI）基金事業）が進行中です。NITEはCO_2固定微生物の発見やその関連データを収集し、CO_2を原料としたバイオものづくりを目指す企業等に提供する事業を展開しています。

interview

製品開発や研究に役立っていると感じる

微生物を収集・保管し、使いたい人に提供する仕事

大学は植物育種を専攻していました。当初は、公務員には事務的なイメージを持っていたのですが、説明会で話を聞く中で、政策に関わる仕事に魅力を感じ、国家公務員に興味を持つようになりました。中でもNITEは、実験や事故調査など技術的な業務を行うという特徴があり、大学で学んだ知識や技術を活かせるのではないかと思いました。私は飽きやすいところもあるので、ジャンルの異なる５分野の選択肢があり、いろいろなことが経験できることにも魅力を感じ、NITEへの入構を決めました。

私が所属している生物資源利用促進課は、微生物を収集・保管し、使いたい人に提供するという、バイオテクノロジーセンターのコア業務の一つを行っています。その中で私は、業務が円滑に進むようにさまざまなサポートをしています。具体的には、経済産業省やNITE内で使う資料の作成、法令対応、内部手続き、資産管理、広報、企業や大学等情報交換ネットワークの事務局などです。

私が専攻していた植物育種は、微生物と直接的な関係はないように見えますが、バイオテクノロジーセンターでの仕事は生物の知識が前提となるので、一般的な生物知識、実験機器の知識や操作経験が役立っていると思います。

コロナ禍の衝撃的な経験

これまでの業務で特に印象に残っているのはコロナ禍の対策チームでの仕事です。私は2020年入構なので、コロナ禍の真っただ中でした。当時は消毒用アルコールの入手が困難な状況で、NITEは経済産業省の要請を受け、アルコール以外の選択肢を増やすために、代替消毒方法の有効性評価を行っていました。私は入構後すぐにその対策チームの一員となり、問合せ情報の取りまとめなどを行いました。職員の雰囲気はピリピリしていましたし、消費者からの厳しい要求やご意見もあり、衝撃を受けました。でもこの特殊な経験のおかげで、日常の業務で多少のトラブルがあっても、落ち着いて行動できているような気がします。

もう一つ印象的なのは、ISO業務の見直しです。生物資源利用促進課はISO9001の認証を受けていて、私はその事務局（全体統括）も務めています。業務改善の一環として全体を見直し、マニュアルの重複を整理したり、運営ルールを軽量化したり、約半年をかけて取り組みました。とても大変でしたが達成感もありました。

英語スキルを高めて視野を広げたい

普段のバイオテクノロジーセンターは、コロナ禍のようなピリピリした空気は一切なく、和やかで、話しやすい職場です。特に私が今勤務している千葉県木更津市かずさは、自然豊かな場所で、気分もおおらかになります。

仕事をする上では、上長に確認したり、アドバイスをいただいたりしますが、自分の案件については、ある程度自分の裁量で進めることができ、やりがいにもつながっています。実際に菌株を提供した食品、化粧品材料、医療関連などの企業から「製品開発に役立っている」「研究が進んでいる」といったお言葉をいただくこともあり、社会の役に立っていると感じます。大学や企業と関わる業務も多いため、いろいろな話を聞く機会があるのはとても楽しいです。一方で、国際会議や展示会をはじめ、海外の方々と関わる機会も多いため、会話やメールなどがスムーズにできるよう、英語のスキルは必要だと感じています。英語スキルが高まれば、もっと視野も広がると思います。

学生のみなさんへ

人生は一度きりなので、仕事もプライベートもやりたいことをやって楽しみましょう。いろんな経験をすると考えの幅が広がります。仕事のミスマッチを防ぐためにも、自己分析と企業分析にやり過ぎはありません。自分が何を重視しているのかを考えて、それを満たす企業や職種を探すと良いのではないかと思います。その上で、NITEを選んでいただけたならうれしいです。NITEは、福利厚生がしっかりしていて、ワーク・ライフ・バランスが取りやすい職場です。

2020年入構（試験区分：農学）
バイオテクノロジーセンター
生物資源利用促進課
吉永 愛美

適合性認定分野

試験・校正事業者等を審査する認定機関として信頼性を支える

貿易や取引手続きの統一化・簡素化が推進されるとともに、企業等のコンプライアンスも厳しく求められています。
適合性認定分野はISO/IEC 17025などの、国際基準に基づいた認定を通じて、
試験・測定データの信頼性や製品の品質を支えることで、産業の発展に貢献しています。

1 「認定」とは

生活の中で下のような抗菌・抗ウイルスマークを目にしたことがあると思います。このような製品の性能の確認には、第三者（試験所等）による試験結果が活用されます。NITE認定センター（IAJapan（アイエイジャパン：International Accreditation Japan））は、国際基準に基づき、その試験所等の品質管理体制や正しく試験を実施する能力を持っているかどうかを審査し、その信頼性にお墨付きを与えています。このお墨付きを与える行為が認定です。

SIAA ISO 22196 抗菌加工

SIAA ISO 21702 抗ウイルス加工

2 法令に基づく認定業務

認定センターは、試験・測定データの信頼性確保を目的とし、国際基準ISO/IEC 17025※1等に基づいて試験所・校正機関などを審査・認定する公的認定機関です。認定センターでは、次に示す法令に基づく認定業務を行っています。

- 産業標準化法（JIS法）に基づく試験事業者登録制度（JNLA）
- 計量法に基づく計測器等の校正事業者登録制度（JCSS）
- ダイオキシン類など極微量物質の特定計量証明事業者認定制度（MLAP）

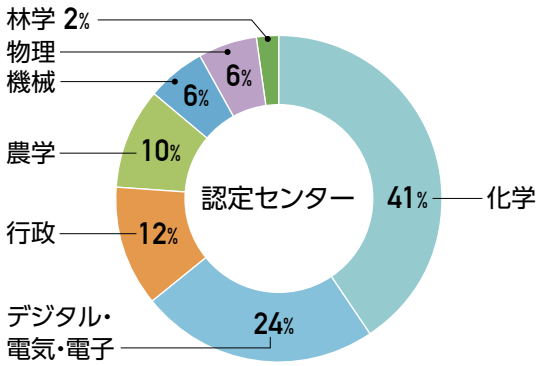
3 国際相互承認への取組

認定センター自身もISO/IEC17011※2という国際基準に基づくマネジメントシステムに従って運営しており、世界の認定機関間での相互承認のもと、4年ごとに国際評価チームの厳しい評価を受けています。これにより、IAJapanが認定した事業者が発行する試験報告書・校正証明書は、国際的に受入可能なものと認められます。

また、認定センター職員も他国の認定機関の国際評価チームに参加して、国際相互承認に貢献しています。

※1 ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項
※2 ISO/IEC 17011 (JIS Q 17011) 適合性評価機関の認定を行う機関に対する要求事項

■試験区分比率



4 政策的・社会的ニーズに対応する認定業務

認定センターでは、政策的取組が必要な分野、先端技術分野で社会的要請が高い分野など、法令に基づく認定ではカバーできない認定ニーズに対応するため、独自の認定プログラム（ASNITE（アズナイト））を運営し、事業者の海外展開などを支援しています。

NEW TOPICS

社会的ニーズに対応した認定プログラムを新設

NITEでは、社会的ニーズに対応した新たな認定プログラムも創設しています。近年では、抗ウイルス性試験所の認定プログラム（新型コロナウイルス感染症の流行に対応）や、地球環境・動物福祉に配慮したアパレル製品の認証制度に基づく認定プログラム（SDGsへの貢献のため）を新設しました。

interview

新たな分野を学ぶ機会にも恵まれ成長できる

2016年入構（試験区分：機械）
認定センター
試験認証認定課
吉成 将

認定プログラムの事務局と審査員

大学時代は工学部に所属し、流体力学、材料力学などを学び、研究室では金属材料の寿命特性に関する研究をしていました。就職活動の選択肢の一つとして公務員も考えていたため、大学での公務員講座も受講していました。就活先は、もともと地元の市役所をメインに考えていたのですが、国家公務員の採用に係る合同説明会でNITEの存在を知り、理系寄りの仕事が多そうなNITEに関心を持ちました。

その後、官庁訪問で職員から話を聞く中で、研究室で使っていたような機器を試験で使用している事業者の審査も行っていることなどを知り、内定時には認定センターへの配属を希望するようになっていました。

この希望が叶い、入構してからは、長らく認定センターで仕事をしています。現在は、主に「産業標準化法試験事業者登録制度（JNLA）」や、法令に基づく認定プログラムでは網羅できない分野に対応するプログラムである「製品評価技術基盤機構認定制度（ASNITE）」に基づいて、事業者の登録／認定業務を行っています。登録／認定業務では、事業者からの申請を受け、申請のあったラボラトリ活動を実施する能力を事業者が有しているか、審査により確認します。私は、審査における事務手続きを担当する事務局と、実際に審査を行う審査員の両方を担当しています。

審査では品質マニュアルや各種手順書などの規定類を細かく確認する

審査業務が終わると達成感がある

審査業務は長丁場です。まず書類審査として、事業者との質問、回答のやりとりを経て、実際に試験所を訪問し、品質管理体制や試験の様子などを見せていただく現地審査を行います。これらの審査結果をもって内部の会議体で審議し、事業者の登録／認定に関する処分を決定します。この一連の審査業務は、申請から処分の決定までに半年から1年程度かかることもあり、終了すると達成感があります。

また、現地審査では、さまざまな業務、役職の方々にご対応いただくので、大変刺激になります。実際に大学での実験や研究などで使用した試験設備を目にする機会も多く、大学で身につけた基礎知識が審査のための技術的な素地になっていると感じます。審査の技術区分は幅広いため、必要な知識の習得のための勉強や研修の受講など、新たな分野を学ぶ機会にも恵まれ、技術的に成長することもできます。

育休を活用、復帰もスムーズ

仕事の上では、嫌な顔をしないこと、計画的に進めることを意識しています。周りは親切な方ばかりで、分からないことや困ったことがあれば助けてくださるので、積極的に相談しています。「協調性を持って、みんなで一緒に頑張ろう」という空気感の職場だと感じています。

育児関係の制度は、男性職員も利用を推奨されています。私自身、第一子のときも、第二子のときも、出産予定時期の約半年前に所属長に相談して業務量などを調整していただき、育児休業、年次休暇、特別休暇を合わせて、計2か月程度のお休みをいただきました。人事企画課の方々だけでなく、むしろ周囲の方々が「子どもが生まれるなら育休を取った方がいいよ」と勧めてくださいましたし、復帰したときも「育児はまだまだ大変だろうけど、仕事も無理せず頑張ってください」という温かい雰囲気で安心できました。

また、ほとんどの業務では普段から副担当が決まっています。事業者からの申請書類もその多くがシステムで管理されているため、お休みに入るときも、職場への復帰時も、引き継ぎはスムーズでした。復帰後、育児のための時短勤務を選択されている方も多く、業務の調整なども柔軟に対応してもらえるので、子育てをしやすい環境だと思います。

学生のみなさんへ

NITEは打ち解けた雰囲気で働きやすく、仕事とプライベートを両立できます。男性も出産・育児関連制度を活用していますし、周りのみなさんも協力してくださいます。またNITEではさまざまな分野を扱っているため、一つの分野で経験を積むこともできますし、異動を希望すれば多くの部署を経験することもできます。自分の能力を発揮できる場が必ず見つかるはずです。

国際評価技術分野

先端技術の安全性評価と電力インフラへの安全支援

経済産業省の蓄電池産業戦略や基準認証政策に基づき、大型蓄電池システムの試験評価業務や国際標準化支援等を行っています。
また、電気保安に係る事故情報の分析・情報発信等を行い、
技術・情報・政策面から持続的な電気保安水準の維持・向上に貢献しています。

1 大型の蓄電池システム

従来の蓄電池はスマートフォンやパソコンに搭載される小型のものが主流でしたが、近年ではスマートグリッド向けの大型の蓄電池システムが多く活用されています。太陽光発電等の再生可能エネルギーで発電された電力の貯蔵、電力系統の周波数調整、電力の需給調整や停電時のバックアップなどを目的としたものです。

NITEは、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、大型の蓄電池システムについて、性能や安全性等の試験を行う世界最大級の試験・評価施設「NLAB（エヌラブ）」の運用や、関連する新しい国際標準（IEC）の開発や提案を進めています。民間企業や研究機関から依頼を受け、国際標準に基づいた試験・評価をNLABで行うことにより、大型の蓄電池システムの安全な運用を目指すとともに、市場における我が国の国際競争力の向上に貢献しています。

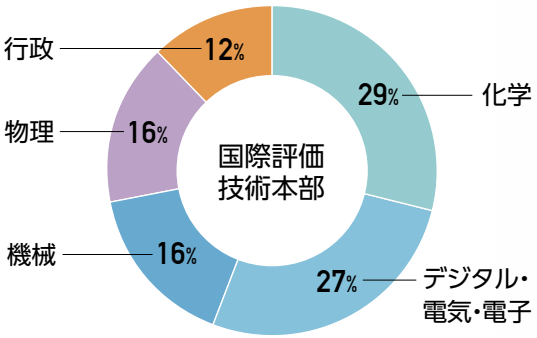
2 電気保安技術支援業務

再生可能エネルギー発電設備の導入が拡大する一方で、昨今の自然災害の激甚化により、電気事業を取り巻く環境は大きく変化しています。

NITEは、電力の安定供給に必要な発電設備等の保安水準を維持、向上させ、国民の安定した生活の維持に貢献するため、国や関係団体等と密接に協力して、次のような規制制度の検討・整備の支援を行っています。

- 電気工作物の事故情報の収集や事故原因究明調査
- 再生可能エネルギー設備等に対する立入検査の実施
- AIやIoT等を活用して電気保安の安全性向上や効率化につなげる「スマート保安」促進のための技術カタログ作成や制度改正のための国への提言

■試験区分比率



NEW TOPICS

次世代型蓄電池の開発に貢献

世界的なカーボンニュートラルへの移行に伴い、化石燃料の使用量削減と再生可能エネルギーの導入が進み、新たな蓄電池の開発や既存蓄電池の性能向上のための試験需要が急増しています。NITEは次世代型蓄電池に対応するため、国の支援を受けて新たに先端技術評価実験棟を建設しました。これにより、日本の自動車産業が先導する全固体電池など次世代蓄電池の技術開発と実用化に大きく貢献することが期待されます。

多目的大型実験棟（大阪事業所）

interview

社会の安全に貢献していることを実感できる

2018年入構（試験区分：機械）
国際評価技術本部
蓄電池評価センター
佐々木 友宏

専攻していた機械の知識が役立っている

私は、学生時代にNITEを知り、製品安全センターが公開している広報動画を見て「公務員でこんなに現場に近い職場があるのか」と興味を持ちました。何度か職場を見学した際の雰囲気も良く、仕事も面白そうだったので、NITEを志望しました。

今私は、国際評価技術本部の蓄電池評価センター（NLAB）で試験業務を担当しています。現在各国でシェア競争が起きているリチウムイオン二次電池について、国内メーカーの競争力強化のための安全性試験の実施支援や、ルール整備に向けたデータ取得のための試験等、実働部隊として業務に従事しています。就職して初めて現場で装置や試験の様子を見た時には、とてもうれしかったですし、それまで自分でイメージしていたことが鮮明に見えたような感覚でした。

私は、大学では機械を専攻していました。打ち合わせ等では専門的な機械のことが話題に上ることもあり、機械関連の知識や事前に検討しておくべきことなどの面で、大学での経験が役立っていると感じます。逆に意外だったのは、法律の知識も必要だということです。たとえば、何かを処分したり、燃やしたりする時にも、法律や法令が関わってくるからです。私は法律の知識はなかったので、今は勉強しながら取り組んでいます。

成果を聞けるとうれしい

NLABでは、多目的大型実験棟をはじめ、他の試験機関等で困難な試験が可能な設備を保有しています。そのため、大規模な試験や未知数の部分が多い試験などを民間の事業者と協力しながら実施する場面もたくさんあります。その中で安全な試験を実施し、かつ必要なデータの取得にはどのような部分を工夫すべきかなど考えながら業務を進めることにやりがいを感じています。また私たちは、蓄電池産業の発展のためにお手伝いをさせていただく立場ですので、事業者から「苦労が実った」「規格を突破できた」など、成果をお聞きするととてもうれしいです。

中でも、新規で認証取得を目指しておられた事業者との打ち合わせが強く印象に残っています。認証試験にはいろいろな段取りや勘どころがあり、初めての事業者は苦戦されていました。私もそれまでは、認証試験の経験がある事業者ばかりに対応してきたので、どういった提案をすれば力になれるだろうかと考え、頭をひねった覚えがあります。

日本の蓄電池の競争力を高められるように

認証試験には、蓄電池そのものの事業者以外にも、蓄電池を搭載する、あるいは蓄電システムを構成する自動車や空調などいろいろな分野の事業者が来られます。さまざまな分野の製品や新しい技術などの話が聞けるのは、非常に面白いです。NITEの中にもそれぞれの得意分野を持った先輩方がいるので、その時々で助けていただいたり、違う視点を教えていただいたりしています。今は、ある先輩から教えていただいた考え方を実践しているところで「これを楽にするには、どう変えたら良いか」と考えて、運用や様式について改良の提案をするようにしています。

蓄電池は大容量化、大型化が進んでおり、新たな製品も作られてきています。それらの安全性を確保するために必要な条件などを提示しつつ、規格や法令にも結び付けるようにしていければ、日本の蓄電池の競争力を高めることにつながると思います。またこれから出てくる新しい電池の技術に対しても、安全性試験などを早期に整備、規格化して、日本の蓄電池産業が世界をリードするような環境を目指せたらいいなと思っています。

学生のみなさんへ

NITEの魅力、国際評価技術本部の面白さをお伝えできたでしょうか。

私は「面白そう」という一念だけでNITEへの就職を決めましたが、「面白そう」と思うことは大事だと思っています。まず興味がないことは覚えられないですし、興味があるからこそ掘り下げたくなるし、発展もさせたくなるのだと思います。もしNITEに興味が湧いた、面白そうと感じたという方は、ぜひ一度見学にいらしていただけるとうれしいです。

マネジメント分野

各技術分野の業務を支える

マネジメント分野では働きやすい職場となるよう、快適なオフィス環境の提供、
ワーク・ライフ・バランスの推進、スムーズで適切な調達の支援、
ITインフラの構築・維持などにより、各技術分野の業務を支えています。

1 マネジメントを担うさまざまな部署

マネジメント分野にはさまざまな部署があり、総務・人事・会計・情報システム等の観点からNITE全体の業務を支援しています。また、戦略立案やデジタル化の推進、戦略的な人材開発により、急速に変化する社会に適応できる組織力と人材力を強化しています。

【経営企画課】業務、組織、予算等の総合的な企画立案・調整など

【広報企画室】NITE全体の広報に関する総合調整・企画立案など

【人事企画課】職員の福利厚生、研修の実施、人材開発、人事配置、給与計算業務、ワーク・ライフ・バランスの推進など

【総務課】施設・設備の営繕、文書管理、法務対応、警備・防災、情報公開など

【財務・会計課】契約管理、資産・物品管理、財務諸表・決算報告の作成など

【イノベーション支援課】イノベーション支援に係る総合調整及び企画立案など

【デジタル監】情報システムの総合的な企画立案・調整・整備、デジタル化推進など

2 NITEの広報活動

NITEでは、活動成果を事業者と国民のみなさまに伝えるための広報活動を行っています。

事業者に対しては、講座の開催等により、新事業の発掘や工業品の品質向上に資するような情報を提供しています。

国民のみなさまに対しては、X（旧Twitter）で日々のトレンドに合わせたタイムリーな投稿を行ったり、YouTubeでNITE職員が自ら制作した動画を配信したりして、くらしの安全に関する情報をお届けしています。

3 NITEの人材開発

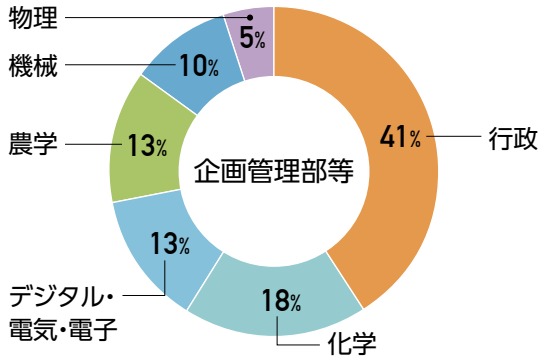
NITEでは、共通に身につけたいスキル、部門ごとに必要なスキルを身につけるため、さまざまな研修を実施しています。

特に若手層の育成は、5年後の主任昇格までに自律的に業務を進めることができるようになることを目的に、入構5年目までの研修プログラムがあります。

入構後最初の1か月ほどの研修では社会人としての基本的なスキルを学び、入構3年目までは同期や先輩職員とのつながりを意識し、自己の成長を確認できるようなカリキュラムを用意しています。それ以降は、キャリア開発研修や後輩との関わりの中で更なる成長を確認し、主任昇格までのサポートをしています。

防音環境でオンラインミーティングができるワークブース。これらの導入・設置手配も総務課の業務の一つ。

■試験区分比率



NEW TOPICS

NITEの総力を結集したイノベーション支援

NITEでは、各地域の企業・大学・行政機関と一体となって、新規産業の創出を図ることにより、社会課題の解決や地方活性化を支援しています。これは、NITEの5つの技術分野がこれまでに蓄積してきたノウハウを結集し、また全国11か所の事業所が地域の特性を踏まえた拠点となって推進している取組です。中小企業、ベンチャー企業、大学などとのコミュニケーションを通して、技術や製品が適切に評価される仕組みについて検討し、NITEの強みを最大限に発揮して社会実装に貢献しています。

interview 施設整備は“縁の下の力持ち”、かつ不可欠な仕事

各種設備の更新や部屋のリニューアル工事等にも携わる

文系出身でも臆せず入構してよかった

大学では会計学を専攻しており、管理会計のゼミに所属していました。研究を通じて経営者が抱える課題に接し、個々の企業努力だけでは解決できない問題があると感じました。それを機に、行政による企業の支援やオープンイノベーションに興味を持ち、公務員を志しました。

国の政策はマクロな視点から検討、立案されるイメージがあり、遠い存在に感じがちです。その中でNITEに興味を持った理由は、行政執行法人として高い視座に立ちながらも、製品事故の原因究明、蓄電池の安全性試験など、身近に感じられる製品に関わる業務を通して広く社会に貢献できると考えたからです。文系学部出身の私が技術系の組織に就職して良いのか不安でしたが、NITEはOJTや研修制度が充実しており、入構してから知識を身につけることができるため、臆せず入構して良かったと思っています。

2020年入構（試験区分：行政）
企画管理部
総務課
浦 梨紗子

簿記の知識が資産管理に活かされている

私は、総務課の業務の中でも、主に建物管理や施設営繕を担当しています。施設の維持管理は、建築基準法や消防法など建築に関する法令に従って行わなければならず、幅広い知識が必要となるため、継続的な勉強を心がけています。

NITEは税金によって調達を行うため、調達の必要性を十分に検討し、調達後は適正に資産管理を行わなければなりません。将来、資産の処分や更新を行う際には、資産の管理状況を必ず確認するため、勘定科目や耐用年数を整理しておくことが重要となります。資産管理についてはまだまだ分からないこともありますが、大学時代に学んだ簿記の知識が今の仕事に活きていると思います。

15件の大規模工事を無事完了

昨年度は、サーバー用UPSや高圧ケーブルの更新、外壁改修など、大規模な15件の工事を担当しました。工事を担当する中で、その設備は何のためにあるのか、業務にどんな影響があるのかなどを知り、身が引き締まる思いでした。工事は同時進行だったため、調達スケジュールや現場の調整がとても大変でしたが、関係者への説明会を開くなど情報共有を徹底し、仕様作成、現場監理、検収まで全工事を完了させることができました。

昨年のNITEの全体報告会では、自身の仕事内容や今後の課題について発表する機会をいただきました。全体報告会とは、NITEのそれぞれの分野の仕事について、職員間で共有する場です。普段見ることのない工事現場の写真なども紹介したところ「知らなかった」「これからも頑張って」などの声をいただき、とても励みになりました。

施設整備は“縁の下の力持ち”のような役割ですが、NITEが社会価値を提供し続けていくためには、実験施設などのインフラ整備が不可欠です。その一端を担っていることにやりがいを感じます。

学生のみなさんへ

NITEは、大学での専攻に関わらず、興味のあることにチャレンジさせてくれる職場です。文系出身の方がその強みを活かすこともできますし、技術系の知識を習得して別の分野の業務に就くこともできます。風通しの良い組織で、ワーク・ライフ・バランスも整っています。仲が良く、一緒に遊びに行くこともありますが、逆にお誘いを断っても気まずくなることはありません。少しでも興味がありましたらNITEを覗いてみてください。

技術系にもチャレンジしたい

仕事をする上で大切にしているのは、最新の情報や実態を把握するということです。前例踏襲で進めるといつか間違いが発生するため、最新規程や法律を見直し、現場の状況を自分の目で見るなど、常に確認するよう努めています。また締め切りを守る、進捗を報告するなど、当たり前のことをきちんとすることも大切だと思っています。それが信頼関係の構築にもつながるのではないかと思います。

今後は、施設営繕に関する研修や勉強会に積極的に参加したいですし、他の職員が学ぶ機会も作っていきたいです。文系出身の先輩方でも、勉強して認定センターの審査員の資格を取った方や、製品安全センターでデータ分析をしている方がおられます。私も技術的な分野にもチャレンジしていきたいと思っています。

座談会

女性職員が語る　NITEの魅力、働き方

NITEはどんな職場か、どんな仕事をしているのか、働きやすいのか、
プライベートと両立できるのか……
3人の女性職員が語り合いました。

NITEで活躍する女性たち

小杉　私は、大学で微生物を扱った研究をしていたので、微生物の保存・分譲業務を行っている点に興味を持ち、NITEを志望しました。現在の企画管理部 人事企画課では、人件費予算の管理業務を中心に、職員のみなさんのサポート業務にあたっています。中学校1年生と小学校4年生の子どもがいます。

染谷　私は、NITEが技術を通して民間・行政を支援することができること、また分野の異なるセンターで構成されていて、さまざまな業務に携われることに魅力を感じて入構しました。2023年4月末に育休から復帰し、現在の化学物質管理センター 化学物質同定課では、化学物質の名称に関する業務に携わっています。

髙木　私は、バイオ系の大学出身なので、バイオ分野の業務に携わることができるところに魅力を感じましたし、説明会等で対応いただいた職員の方々がとても親切で、ここなら安心して働くことができると思いました。今は、バイオテクノロジーセンターの総括業務を行っています。まだ分からないこともたくさんありますが、周りのみなさんが気にかけてくださって、いろいろ教えてくださるのでありがたいです。

若いうちからいろいろな経験ができる

髙木　入ってまだ2年目ですが、昨年、外部の方をお招きした意見交換会の事務局を任せていただきました。先輩が担当されている様子は見てきたものの、いざ自分が主担当となると不安もありましたが、周りの方々に助けていただきながら無事に終えることができました。お二人はいろいろ経験していらっしゃると思うのですが、どんな業務が印象に残っていますか。

染谷　NITEは若いうちからいろいろな経験をさせてくれますよね。私は、化審法に基づく新規化学物質の審査の業務で、審議会に出席したことが印象的です。入構して2〜3年目で、経済産業省、厚生労働省、環境省の方々、専門家の委員の先生方を前に、化学物質の安全性について報告する経験をしました。化管法関連では、化学物質の排出管理について事業者と意見交換するために、化学物質を取り扱っているその工場へ出張したこともよく覚えています。通常、化学物質管理センターでは、提出された申請書類などを確認したり、パソコンに向かったりする業務が多いのですが、現場の声を直接伺うことができてとても勉強になりました。

小杉 みどり
企画管理部 人事企画課

2005年入構（試験区分：農学）
バイオテクノロジーセンター、
広報室、化学物質管理センター
を経て、2023年7月より
現在の部署。

髙木 智代
バイオテクノロジーセンター計画課
2022年入構
（試験区分：化学）
センター全体に関わる会議や委員会の事務局等を担当。

小杉　私も、法令関連の業務が印象に残っています。バイオテクノロジーセンターでも、事業者さんや業界団体の方々から、お困りのことや運用の課題などをお伺いすることがあり、それを踏まえて法令の運用改善に取り組みました。事業者さんの負担を抑えつつ法の目的をどう達成するか、第三者から見て適切となる運用になっているか、その線引きを経済産業省と議論しながら調整していくことが楽しかったです。NITEに入る前は、法律の運用についてあまり意識していませんでしたが、事業者さんに近く、現場の声を反映できるNITEのポジションは重要だなと思いました。経済産業省と事業者さんの間に立てるのは、NITEの強みだと感じています。

幅を広げることも、専門性を高めることもできる

髙木　NITEには、法律関連やマネジメント系の仕事をしている方も、技術的な仕事をしている方もいらっしゃいますよね。NITEへの就職を決めた時は、理系の知識などを活かせたらいいなと思っていたのですが、みなさん楽しそうにお仕事をされているので、どちらの方向を目指すか迷っています。

染谷　私は、化学物質管理センターで技術的な仕事を経験し、経営企画課ではマネジメント系も経験しました。入構して10年になりますが、私もまだ方向性を決められずにいます。

小杉　NITEは、調整さえできれば希望する部署を経験することもできるし、一つの分野で専門性を高めることもできるので良いですよね。私は、最初はバイオテクノロジーセンターで技術的な仕事をしたいと思っていましたが、仕事をしていくうちに、法令業務を経済産業省と一緒に運用していったり、部署がうまく回るようにしたり、マネジメント系のポジションのほうが向いているのかなと思うようになりました。実際これまでやってきたのは、マネジメント系がほとんどですし、人事企画課に異動したのも研修など人材育成に興味があったからです。最近は、働きやすい環境作りや人材育成を行っていくには、NITEで働いてい

次ページに続く→

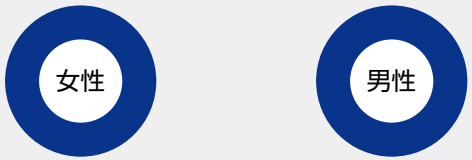
染谷 恵梨奈
化学物質管理センター
化学物質同定課
2014年入構
（試験区分：化学）
化学物質管理センター、経営企画課を経て、2023年4月より現在の部署。

■主な育児関連制度

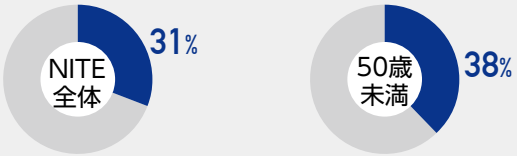
産前休暇	6週間（多胎妊娠の場合は14週間）以内に出産する予定である場合の休暇（出産日まで）
産後休暇	出産した場合の休暇（出生日の翌日から8週間を経過する日まで）
育児休業	3歳未満の子を養育するための休業
育児短時間勤務	未就学児を養育するため、通常より短い勤務時間で勤務すること
育児時間	小学校3年生までの子を養育するため、始業または終業時に1日2時間まで勤務しないこと
早出遅出出勤	未就学児の養育・小学生の放課後児童クラブ等への送迎のため、勤務時間帯を変更すること
育児を行う職員のフレックスタイム制勤務	小学校6年生までの子を養育するため、総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更すること
在宅勤務	育児により出勤することが著しく困難である場合、通常より柔軟に在宅勤務すること
出生サポート休暇	不妊治療に係る通院等のための休暇（年5日（体外受精等に係る通院等の場合はさらに5日加算））

■育児関連データ

育児休業取得率（令和5年度実績）



女性常勤職員比率（令和7年1月時点）



る方々のことをもっと知らないといけないなと感じています。お二人は、今やりたいと思っていることはありますか。

髙木　そうですね。バイオテクノロジーセンターには専門性の高い職員の方々が多くいらっしゃるので、今はまず、私も専門性を身につけて、センターや社会に貢献できるようになりたいと思っています。

染谷　私は化学物質の名称付与業務のベテラン職員が持っている経験や知見を、見える化することにチャレンジしたいです。また年次が上がっていくと部下を持つことになるので、話しやすい、相談しやすいと思ってもらえるような職員になりたいと思っています。

福利厚生制度を利用するのは当たり前

染谷　NITEは、多くの女性が活躍している職場であることは間違いありませんが、実際NITEで仕事をしていて女性であることを意識したことはありません。お二人はどうですか。

小杉　私も女性だから、男性だからと思って仕事をしたことは全くないですし、そういう扱いを受けている感じもありません。すごくニュートラルな感じですね。

髙木　そうですね。入構する前は、管理職の方は男性が多いのかなと思っていたのですが、女性の管理職の方もたくさんいらっしゃいますよね。

小杉　それにお休みも取りやすくて、働きやすいと思います。

髙木　そう思います。もうちょっと休みにくい雰囲気かなと思っていましたが、特に夏休みや年末年始などには「進んで休んでください」とみなさん言ってくださいます。周りのお母さん方も、たとえば参観日には時間単位のお休みを取るとか、制度をうまく活用していらっしゃいます。

染谷　私は、夫もNITEの職員で、育休は二人一緒に一年間いただきました。悩みも共有しながら育てられたし、0歳から1歳の成長をずっと一緒に見られて良い時間だったと思います。サポート体制もしっかりしているので、復帰もしやすかったです。今も、育児時間という制度を使わせていただいていますが、周りにもママが多くて、当たり前に制度を利用する環境が整っていると思います。

小杉　最近は男性もパパになるとほとんどの職員が育休を利用していますよね。私も産休・育休制度を利用しました。妊娠中も体調が悪い時期があったのですが、上司に相談して融通していただいて、体調と相談しながらお仕事ができてありがたかったです。テレワークも含めて、利用することが当たり前の環境ができているところが良いですね。

染谷　そうですね。テレワークは、家事・育児と仕事を両立するうえでもとても助かっています。

どんな人にもピッタリなポジションがある

小杉　NITEのポジションが経済産業省とどう違うのかというと、やはり事業者さんに近いことだと思います。現場の声を聴きやすくて、貢献しやすいのがNITEだと強く感じていて、私はNITEに入って良かったと思います。髙木さんは就職活動が記憶に新しいと思うのですが、どうですか。

髙木　就職活動をしているときは、民間か公務員かから考えました。公務員にもいろんな組織があるので、たくさん説明会に行って、いろいろな方とお話をしました。その中で自分の専攻にも合っていて、みなさんの人柄や雰囲気も良かったので、NITEを選びました。管理職の女性比率も高いですし、男女を問わずいろいろなキャリアを目指せる職場だと思います。

小杉　そうですね。NITEはどんな属性の方にとっても働きやすい職場ですね。男性か、女性かだけでなく、ご家族の状況、趣味も大切にしたいなど、どういう方にもきっとピッタリなポジションがあります。自分が働いていても、制度面も充実していていいなと感じています。

染谷　小杉さんがおっしゃるように、どんな方でも就けるポジションがあるし、バックグラウンドに関わらず、やりたい業務に挑戦できる機会があります。制度的にも、出産や育児はもちろん、ワーク・ライフ・バランスを大事にしている方にとっても働きやすいと思います。

髙木　今就職活動をしている学生のみなさんも、迷いや不安がいっぱいだと思うのですが、NITEは良い職場なので、ぜひ説明会に来ていただきたいですね。

column NITEの役割、私の役割

安全な国民生活の確保に技術面から貢献

センターのポテンシャルを引き出す

私の役割は、化学物質管理センターの強みを活かしポテンシャルをより引き出すため、技術力の継承や向上、課題をみつけて柔軟にその解決に向けた挑戦ができるような職場環境、仕事のやり方、仕組みづくりをしていくことだと考えています。これは私のやりがいでもあります。

ここ数年は、化学物質管理センターのビジネスモデル、戦略、中期方針の検討・策定などに関わり、それらの実現のために、組織再編や事業計画の見直しを行っています。

NITEにしかできない希少な役割

NITEは、各種の法令や政策の中で使われている評価技術を高度化するために、科学技術の研究成果の実用化や、制度への組み込みなどを実現し得る、恵まれた立ち位置にいます。

この土台となっているのは、技術的な評価や審査を日々行っているという現場の強みと、新たな評価技術の進展や社会的な課題に常にアンテナを張り情報収集をしていることです。

職員のみなさん、これから入構されるみなさんには、このようなNITEにしかできない希少な役割を大事にし、活用していただくことを期待しています。

国民や産業発展に役立つやりがいある仕事

NITEは女性の比率が高い組織です。たとえば化学物質管理センターの女性割合は、常勤職員で約45%、管理職も同じ約45%です。育児休業制度等も整っており、性別に関係なく、働きやすく活躍できる職場です。

私たちは、行政当局、産業界、研究機関、国際機関との協力関係を通じたハブ的な機能を有し、安全な国民生活の確保に技術面から貢献しています。学生時代に学んだことが役立つ業務もあるでしょうし、NITEに入ってから身につけられる技術・スキルもさまざまあります。その技術、スキルが、国民生活の安全の確保や我が国産業の発展に役立つことはとてもやりがいがあります。私たちと一緒に、くらしの安全と未来への挑戦を支える仕事に携わりませんか。

2003年入構
化学物質管理センター所長
村田 麻里子

1990年　株式会社プレック研究所入社（～1999年）環境アセスメント調査、国や自治体の環境関連施策に係る委託調査等に従事（1995年に育児休業取得）
2003年　横浜国立大学大学院工学研究科物質工学専攻博士後期課程修了（博士（学術））
2003年　独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター入構リスク管理課
2004年　経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質化学物質リスク評価室併任（～2006年まで）
2006年　化学物質管理センターリスク評価課
2012年　化学物質管理センターリスク評価課長
2014年　化学物質管理センター参事官（制度企画調査担当）
2016年　経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質安全室課長補佐
2019年　化学物質管理センター参事官（リスク評価担当）
2020年　化学物質管理センター次長
2023年　化学物質管理センター所長

アンケート

若手職員に聞いてみました

入構1～2年目の若手職員に、志望時のこと、
今の職場のことなどを聞きました。

Q1 NITEを志望した決め手は何ですか？

- 「公的機関でありながら、最先端の技術に関わることができる」ということが、他の組織には無い魅力に感じました。
- 科学技術と社会の橋渡しが出来る仕事をしたいと考えており、NITEであれば叶えることができると感じたからです。
- 技術面から日本の産業や国民生活に貢献できること、自身の身近にいる技術者たちに貢献できることは魅力的だと思いました。
- 技術系の公務員の中でも自分の専門や興味のある分野があったことが決め手でした。
- 「安全とあなたの未来を支えます」というスローガンに共感し、ここで働いてみたいと思いました。
- プライベートも大切にでき、フレックスやテレワークなどライフステージに合わせた働き方を選ぶことができるからです。
- 学生の時に学んだ技術的な知見を活かし、また新たに技術的な知見をNITEで習得することができることです。
- イベントや面接時に職員の方々の対応がとても良く、こういう雰囲気の職場で働きたいと感じました。
- 分野の異なる5つの部門があったからです。やりたいことが絞りきれずにおりましたが、いろいろな部門で働いていくなかでやりたいことが見つかるのではないかと思いNITEを志望しました。

Q2 職場の雰囲気はどうですか？

- 業務中も業務外でもコミュニケーションを非常に取りやすい雰囲気です。
- 1年目からいろいろな仕事に挑戦する機会を与えてくれる職場だと感じています。
- 上司・先輩の方々は相談しやすく、親身になって指導やサポートをしてくださる、非常に良い環境だと思います。
- 講習会が多く開催されるため、さまざまな知識が身につきます。
- テレワークもできるので、自分で好きな働き方を選べる職場です。休暇も取りやすく、労働環境は整っていると思います。
- フラットに意見が言える雰囲気があると感じます。みなさんフレンドリーで居心地が良いです。
- 民間企業経験のある技術職員も多く在籍されており、あまり公務員組織っぽくなく、いい意味でくだけた雰囲気です。
- さまざまな方と昼食を取る機会が多く、交友関係が広がります。隣のJICA（国際協力機構）のランチはおいしいです。
- 職場内のテニスサークルに所属しています。初心者から上級者までいろいろな人が楽しく活動しています。
- 仕事だけでなくプライベートでも交流があり、バスツアーやレジャーに行ったりもしました。

Q3 入構前後のギャップはありましたか？

- 堅い雰囲気かと思っていましたが、気さくな方が多く、コミュニケーションも活発で、いい意味で公務員のイメージと違いました。
- フリーアドレスやチャットツール等の活用が促進されており、思った以上に自由に働けていると思います。
- 書類は基本電子媒体で、想像していたよりDXを推進する動きも活発です。
- テレワークやフレックス勤務も可能など、思っていた以上に新しい制度や働き方のある職場でした。
- 思っていたより女性の管理職の方が多かったことです。
- 電子機器やデータの取扱いに関する決まり事が多くて驚きました。
- 想像以上にさまざまな製品の調査をしていることです。そのため調査を通じていろいろな分野の知識を身につけることができます。
- 入構前はギャップがあるだろうと思っていたのですが、まったくありませんでした。

Q4 どんなことに仕事のやりがいを感じていますか？

- 初めて触れることが多く苦労することもありますが、新たな分野を知ることができることに面白さを感じます。
- 人の役に立っている、社会の貢献につながっていると感じたときです。
- 政策や法律に基づいた仕事のため、社会への役立ち方が分かりやすいことがやりがいになっています。
- 報告書の完成に向け、スケジュールを管理し、サポートを受けながらも自身の手でやりきったときの達成感です。
- 自分の業務が組織を回すことに少しでも関わっていることにやりがいを感じます。
- 日本産業の未来を明るくするための活動に関われることです。
- 自分の調査結果が製品の安全向上、さらには多くの人の安全な生活の役に立つことです。
- 所属する部門全体に関係する大事な会議の準備をしたり、出席したりできること。気を使いますが、大変勉強になります。

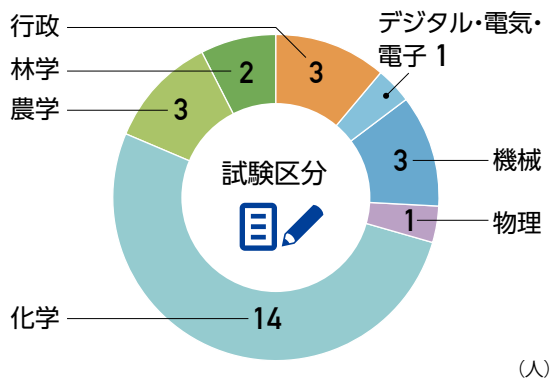
Q5 任せられてうれしかった仕事は何ですか？

- 外部の方に向けた説明会の一部を担当させていただいたことです。
- システムの運用担当、課内連絡ツールの管理担当、業務効率改善の仕事。自分で工夫しながら形にしていくのは楽しいです。
- 内閣府シンポジウムの事務局を任せられたことです。
- 一般の方も参加する外部講座向け講座の発表を務めたこと。質問にも答えられて、成長を実感できました。
- 製品事故調査の主担当です。周囲の方に協力いただきながら、やり遂げることができました。
- 海外の視察団の日本各地の視察に1週間ほど同行したことです。自分の業務に活かせるお話も伺えて、大変勉強になりました。
- 実態把握のためのアンケート調査です。外部の業界団体などとのやり取りを通じて、事業者の視点を学ぶことができました。
- 学術会議の運営です。大変でしたが、無事に終了した時には達成感がありました。

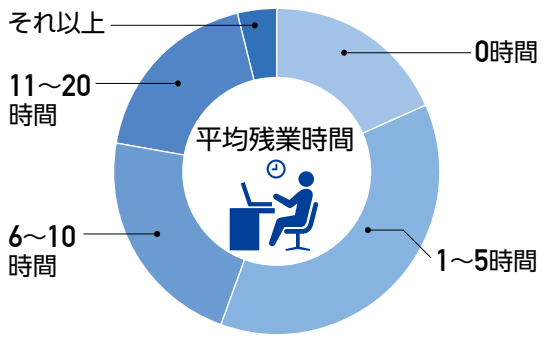
Q6 学生へのメッセージをお願いします。

- 幅広い分野を経験できるのがNITEの魅力です。いろいろなことに挑戦してみたい方にはおすすめです。
- NITEは、専門性の高い業務を行いつつ社会への貢献も実感できるとても良い職場だと思います。
- NITEにはさまざまな分野の業務があるため、少しでも興味が湧いたらぜひその活動を調べてみて欲しいです。
- NITEでは、培ってきた知識を活かしたいとか、まとめ上げる仕事をしたいとか、いろいろな振る舞い方ができると思います。
- NITEは労働環境が整っており、プライベートも大切にできるとても働きやすい職場です。
- みな優しくて良い職場だと思うので、ぜひ説明会に参加してみてください。
- 自主的に学ぶことをサポートする環境が整っています。業務や仕事だけでなく、自分を大切にしたい方にもおすすめします。
- 幅広い分野があるため、2, 3年ずついろいろな分野に挑戦していく方や、1つの分野で長年経験を積み、活躍されている方など、いろいろなタイプの先輩がいるなと感じています。そうした、自分に合ったキャリアパスを描けるのがNITEの魅力の一つだと思います。

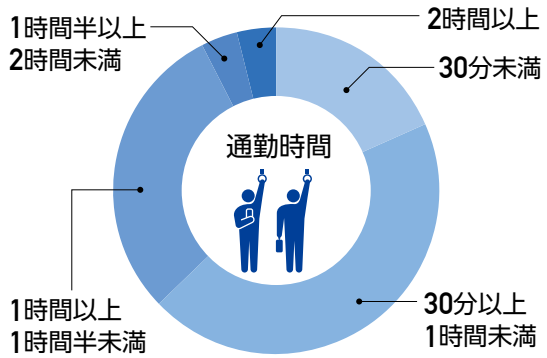
Q7 試験区分を教えてください。



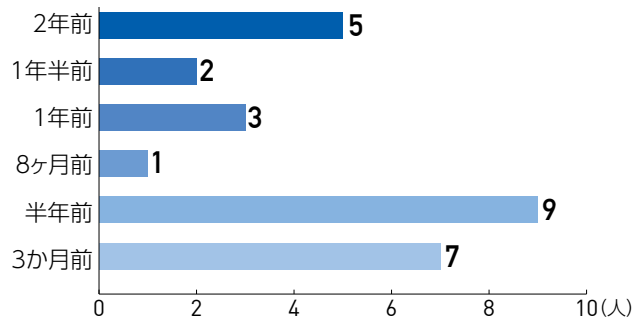
Q8 毎月の平均残業時間を教えてください。



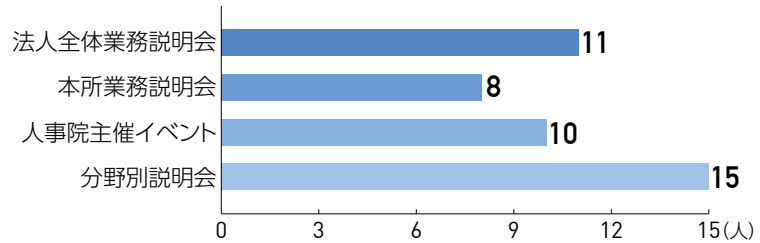
Q9 通勤時間を教えてください。



Q10 公務員試験対策開始時期を教えてください。



Q11 参加して良かったと思うイベントを教えてください。



採用関連Q＆A

NITEについて

Q 独立行政法人について教えてください。

A 独立行政法人とは、国民生活や社会・経済安定などに必要な事務や事業を中央省庁から独立して効率的かつ効果的に実施するための機関です。また独立行政法人のうち、国の行政事務と密接に関連した事業を正確かつ確実に執行することが求められる機関を行政執行法人といいます。

NITEは、経済産業省所管の行政執行法人であり、職員の身分は国家公務員です。

採用について

Q NITEの業務と関係の無い大学等の専攻でも採用されますか？

A NITEの業務に直結する専攻以外の方も多く採用しています。NITEは非常にさまざまな業務を行っており、職員のバックグラウンドも多彩です。多様な人材を求めておりますのでぜひ官庁訪問等にご参加ください。

Q これまで採用実績の少ない試験区分でも採用されますか？

A NITEでは多様な人材を求めており、一般職（大卒程度）の全ての試験区分から採用を行っています。採用実績は気にされずに官庁訪問等に積極的にご参加ください。

Q 勤務地について教えてください。

A 3分の2以上の職員は東京（本所）での勤務です。全国に支所もありますが、ほとんどの職員は東京、千葉、大阪で勤務しています。

就労環境について

Q 勤務時間について教えてください。

A １日の勤務時間は7時間45分です。フレックスタイム勤務制やテレワーク制度等を利用し、自身に合った働き方が可能です。

Q 残業の状況について教えてください。

A 業務の忙しい時期などに残業をしていただく場合があります。令和5年度の１か月当たりの平均残業時間は約10時間で、勤務後に習い事等で充実したプライベートを過ごしている職員も数多くいます。

Q 休暇について教えてください

A 年次休暇（有給休暇）や特別休暇など国の制度に準じたさまざまな休暇の制度があります。年次休暇は1年間に20日付与され、平均使用日数は15日と多く利用されており、公私ともに充実した生活が送れます。

Q 福利厚生はどうなっていますか？

A NITEは国家公務員共済組合に加入しています。傷病に際しての療養費の給付、出産に際しての出産費給付等さまざまな給付制度をはじめ、退職年金制度、貸付制度など職員とその家族の生活のための制度が用意されています。

Q 研修制度はありますか？

A 入構直後の新規採用職員研修の他に、階層別職員研修や、業務に応じた各種専門研修、キャリア開発研修等があります。また、職員が自発的に取り組む自己啓発研修の支援も行っています。

Q サークル等の活動はありますか？

A 有志による野球、バドミントンやテニスの活動など職員間の懇親を深める場が数多くあります。野球は渋谷区の大会にも出場しています。

給与について

Q 初任給はいくらですか？

A 東京に勤務する場合、大卒で月額264,000円、院卒（修士課程）で276,000円（2025年1月時点　地域手当含む）です。この他に家族、住居、通勤状況等に応じて、扶養手当、住居手当、通勤手当等が支給されます。また、期末・業績手当（いわゆるボーナス）が年２回支給されます。

人事企画課長から

2001年入構（試験区分：物理）
企画管理部
人事企画課
常見 知広

NITEの採用パンフレットをご覧いただきありがとうございます。興味のあるお仕事はありましたでしょうか？

私たちNITEは、「製品安全分野」、「化学物質管理分野」、「バイオテクノロジー分野」、「適合性認定分野」そして「国際評価技術分野」において、国民・社会における安全の確保や信頼性の向上に貢献する組織です。

独立行政法人の中でも国家公務員型（行政執行法人）の立場で「産業界などの現場」から「国の政策立案の現場」そして「政策の実行」に至るまで幅広く活躍し、これらの間をつなぐ架け橋役も担っています。

この役割を果たすため、私たちNITEでは「産業界や学会のニーズ・シーズを聞き取る力」、「安全性・信頼性に関する専門的技術力」、「国の政策や制度への企画・提案力」、「社会実装を行う実行力」、そして、「組織の経営基盤（情報基盤、DX推進、企画、会計、総務、給与等）を支える力」など、それぞれの能力を活性化して活躍する多様な人材を求めています。

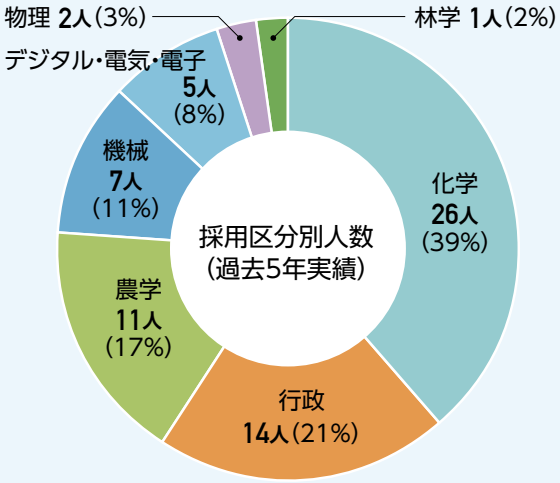
NITEにはこのような職務に必要な知識や能力を磨く研修や業務を通して自らを成長させていくための環境とワーク・ライフ・バランスの取れた環境があります。

近年、社会は急速に変化しており、国民や産業界から行政に求められるニーズが早いスピードで変化しています。これに即応するため私たちNITEは常に進化し続ける必要があります。

我々と環境の整ったNITEで、時代時代に応じて社会に貢献し続けるために一緒に進化していきませんか。

みなさんとお会いできることを楽しみにしています。

■採用実績



区　分	人数
化　学	26
行　政	14
農　学	11
機　械	7
デジタル・電気・電子	5
物　理	2
林　学	1
総　計	66

※試験区分ごとの人数は実績であり、上限ではありません。
試験区分にとらわれず採用を行っています。

独立行政法人 製品評価技術基盤機構
〒151-0066　東京都渋谷区西原 2-49-10
TEL.03（3481）1921　FAX.03（3481）1920
https://www.nite.go.jp

ホームページ

採用担当：人事企画課
TEL.03（3481）0952
Mail. saiyou@nite.go.jp
https://www.nite.go.jp/nite/saiyou/index.html

採用ページ

2025.03